

## せたな町 地域エネルギービジョン

1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)
2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に関する国、せたな町等の動向
3. 第2回協議会以降の資料収集等
4. せたな町 地域エネルギービジョンの基本方針(案)

2022年8月3日



**ZERO CARBON**  
HOKKAIDO  
SETANA

# 目 次

1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)
2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に関する  
国、せたな町等の動向
  - (1) ゼロカーボンシティ宣言
  - (2) 脱炭素先行地域
  - (3) 洋上風力発電に係る動向
3. 第2回協議会以降の資料収集等
  - (1) 事例の収集
  - (2) 先進事例・自治体への取材
4. せたな町地域エネルギービジョンの基本方針(案)
  - (1) 再検討にあたっての基本的な考え方
  - (2) 基本方針(案)
  - (3) 具体的な取組(案)

# 1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)

第2回協議会(2021年12月23日開催)において、各委員から地域エネルギービジョン(以下、「エネビジョン」)について、下記の通りご意見・ご指摘をいただきました。

| 項目                          | 第2回協議会でのご意見                                                       | 対応方針(案)                                                |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 基本<br>方針<br>(案)<br>につ<br>いて | ・再生可能エネルギーの地産・地消、再生可能エネルギーによる町民への還元やメリットを含めるべきである。<br>(金子委員、笠原委員) | ・再生可能エネルギーの地産・地消を含めた方針を追記した。                           |
|                             | ・省エネの取組を含めるべきである。<br>(金子委員)                                       | ・省エネの取組を含めるものとした。                                      |
|                             | ・エネビジョンの目標は夢があるべきである。(桜井委員)                                       | ・将来の技術革新を含めた取組を含めるものとした。また、町内をよりよくする取組を加えた。            |
|                             | ・クリーンな電力を活用した漁業や農業を行い、ブランド化して付加価値をつけるようなビジョンをいれるべき。(金子委員)         | ・再生可能エネルギーの地産・地消の事例等を収集した。また、事例を参考に、具体的な取組案をビジョンに整理した。 |

# 1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)

| 項目                | 第2回協議会                                          | 対応案                           |
|-------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------|
| 目標<br>(案)<br>について | ・ゾーニングに基づいたエネビジョンの目標と各種計画との関係性は？調整・整理が必要。(松本委員) | ・第2次総合計画の方針との関係を整理した。(参考資料参照) |

# 目 次

1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)
2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に関する  
国、せたな町等の動向
  - (1) ゼロカーボンシティ宣言
  - (2) 脱炭素先行地域
  - (3) 洋上風力発電に係る動向
3. 第2回協議会以降の資料収集等
  - (1) 事例の収集
  - (2) 先進事例・自治体への取材
4. せたな町 地域エネルギービジョンの基本方針(案)
  - (1) 再検討にあたっての基本的な考え方
  - (2) 基本方針(案)
  - (3) 具体的な取組(案)

## 2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に係る国、せたな町等の動向



ZERO CARBON  
HOKKAIDO  
SETANA

### (1) ゼロカーボンシティ宣言(せたな町)

「地球温暖化対策の推進に関する法律」において、都道府県及び市町村については、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるものとしてされています。

環境省は、「**2050年にCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を実質ゼロに**することを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体」を**ゼロカーボンシティ**としています。せたな町では、**2022年3月2日「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明**しました。

ゼロカーボンシティ宣言に伴うメリットは以下の通りです。

- ①環境省から支援を受けられる
- ②地域活性化・地域貢献できる



北海道せたな町長 高橋 貞光 殿

貴町におかれましては、この度、地方公共団体として2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指すことを表明されました。

今回の貴町の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で613の地方公共団体となりました。我が国としての2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大変心強く感じております。

近年、国内各地で大規模な災害が多発しているところですが、地球温暖化の進行に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化などが予測されています。こうした私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われている気候変動問題に対処するため、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

現在、政府としては、2050年カーボンニュートラルや2030年度46パーセント排出削減目標の達成に向け、再生可能エネルギーの最大限の導入などを掲げ、我が国の成長戦略の柱の一つとしているところです。

環境省としても、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への3つの移行を推進し、今までの延長線上ではない、社会全体の行動変容を図ってまいります。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、今後30年間のうち、とりわけこの5年間、10年間が重要です。このため、地域脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、脱炭素の基盤となる重点対策の全国実施を進めていく必要があります。貴町及び他のゼロカーボンシティと連携しながら、地域脱炭素の更なる具体化・加速化を進めてまいります。

環境大臣

山口 壯

## 2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に係る国、せたな町等の動向

### ①環境省から支援を受けられる

政府は、2050年カーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標の実現に向けて、様々な施策や支援を行っています。

これらに関連する事業として、例えば、「地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援」、「災害・停電時に公共施設へエネルギー供給が可能な再生可能エネルギー設備等の導入支援」、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金による支援」など、エネルギービジョン策定や具体的な設備導入などに対して公的支援が受けられるようになっています。

### ②地域活性化・地域貢献できる

二酸化炭素の排出量を削減するためには再生可能エネルギーの積極的な導入が必要となります。これによって地域の産業や雇用の創出が期待できます。

また、太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーにあわせて、蓄電などの設備の整備を行えば、自然災害など有事の際に、地域に電力を供給できる仕組みができます。

## 2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に係る国、せたな町等の動向

### (2) 脱炭素先行地域(環境省)

脱炭素先行地域は、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出(※)の実質ゼロを実現するとともに、運輸部門なども含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域となり、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなります。

「地域脱炭素ロードマップ」では、環境省を中心に国も積極的に支援しながら、少なくとも100か所の脱炭素先行地域で、2025年度までに、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、2030年度までに実行し、これにより、農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を同時解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すこととしています。

※民生部門のCO<sub>2</sub>排出量は、2030年46%削減の目標達成に向けて、家庭部門で66%、業務その他部門で50%と、他部門よりも、より一層の対策が求められています(せたな町は家庭部門32%、業務その他部門20%)。このような中、民生部門の電力は、再エネなど今ある技術でCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現することが可能であることから、2030年に前倒しして民生部門の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを達成することとしています。



## 2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に係る国、せたな町等の動向

せたな町では、エネルギービジョン策定や、地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の策定を行い、民生部門等の温室効果ガスの削減を含んだ様々な取組を検討することによって、**脱炭素先行地域への選定を目指します。**

**脱炭素先行地域に選定されると、自治体や企業による再生可能エネルギー設備や基盤インフラ設備、住宅等への省エネ設備の導入にあたって、国から脱炭素移行・再エネ推進交付金という支援を受けられます。**

## 2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に係る国、せたな町等の動向

### (3) 洋上風力発電に係る動向(国土交通省)

2022年2月:国土交通省港湾局は、洋上風力発電を通して地域振興を図った国内外の事例をまとめた「洋上風力発電を通じた地域振興ガイドブック」を公表しました。

#### (1)地域振興モデルに関する事例

基地港湾の建設(風車組立作業)、O&M※<sup>1</sup>機能を基盤とし、作業船基地、資機材生産、人材育成・研究開発、観光等、これら要素の組合せ効果を期待

#### (2)人材育成に関する事例

洋上風力関連産業に携わる人材の育成・確保 ①スキル取得(技能実習、訓練、資格取得支援、セミナー等)、②技術者育成(大学等での高等教育)、③将来の担い手確保(STEM教育※<sup>2</sup>、PR活動等)の取組

#### (3)地域振興の効果に関する事例

経済波及効果として地元受注(直接効果)及びその波及効果、その経済波及効果に伴う雇用効果、地元企業の事業拡大及び雇用所得増等による税收効果(都道府県、市町村)

※1 O&M : 運用(Operation)、保守点検(Maintenance)の略

※2 STEM教育: 科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、数学(Mathematics)の4つの教育分野の総称

## 2. 第2回協議会以降のエネルギー策定に係る国、 せたな町等の動向

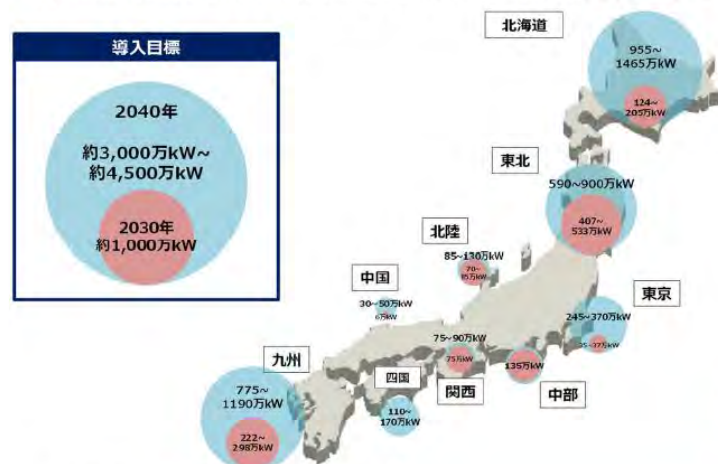
### (3) 洋上風力発電に係る動向(国土交通省)

2022年2月:国土交通省港湾局は、2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方に関する検討会にて、北海道・東北・北陸エリアにおいて、洋上風力発電の導入

に必要な「**基地港湾**」を、**将来的に2～5港程度必要**であること、また、「**基地港湾**」とあわせて「**基地港湾を補完する港湾**」が必要であることが整理されています。

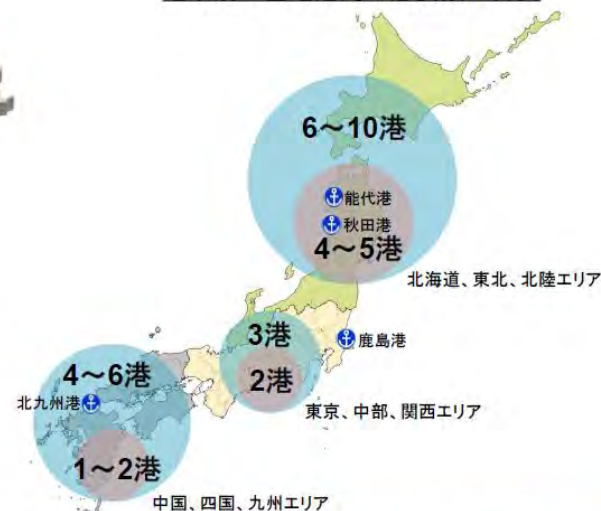
- 洋上風力産業ビジョン(第1次)に示された導入目標の達成のために必要となる基地港湾の数の目安を、地域別に試算した結果は下記のとおり。

洋上風力産業ビジョン(第1次)で示された地域別導入イメージ※



(出所)洋上風力産業ビジョン(第1次)を基に作成  
※FIT認定量ベース

地域別の基地港湾の必要数の目安



|              | 2030年目標達成に必要な、<br>2030年までに新たに供用開始する基地港湾数 | 2040年目標達成に必要な、<br>2030年以降更に追加する基地港湾数 |
|--------------|------------------------------------------|--------------------------------------|
| 北海道、東北、北陸エリア | 2～3港程度                                   | 2～5港程度                               |
| 東京、中部、関西エリア  | 1港程度                                     | 1港程度                                 |
| 中国、四国、九州エリア  | 0～1港程度                                   | 3～4港程度                               |

出典: 2050年カーボンニュートラル実現のための基地港湾のあり方に関する検討会2022年2月17日開催  
資料5、国土交通省港湾局

# 目 次

1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)
2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に関する  
国、せたな町等の動向
  - (1) ゼロカーボンシティ宣言
  - (2) 脱炭素先行地域
  - (3) 洋上風力発電に係る動向
3. 第2回協議会以降の資料収集等
  - (1) 事例の収集
  - (2) 先進事例・自治体への取材
4. せたな町 地域エネルギービジョンの基本方針(案)
  - (1) 再検討にあたっての基本的な考え方
  - (2) 基本方針(案)
  - (3) 具体的な取組(案)

### 3. 第2回協議会以降の資料収集等

第2回協議会でお示した取組みのうち、せたな町で実行可能性の高い取組についての事例を収集するとともに、一部について、自治体等へ取材を行いました。

#### (1) 事例の収集

新電力、再生可能エネルギーに関する基金、環境教育の事例を収集しました。

#### (2) 先進事例・自治体への取材

収集した事例のうち、特に参考となりそうな事例について、取材を行いました。概要は表3-1に示す通りです。

### 3. 第2回協議会以降の資料収集等

表3-1 先進事例・自治体への取材結果（概要）

| 事 例   | 取材先          | 結果概要                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 再エネ基金 | 秋田県<br>由利本荘市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 特定の再エネ事業者からの基金をもととしている。</li> <li>• 基金の使用用途は風力発電施設がある区域を中心に、公民館改修、街灯設置や祭りへの支援などを実施</li> <li>• 「由利本荘市再生可能エネルギーの利用を目的とした施設の建設に関する手続ガイドライン」に基づき、再エネ設置に際して地域への還元を依頼</li> <li>• 市の広報などで取組をPRしている。</li> </ul> |
|       | 秋田県<br>にかほ市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規の再エネ事業全てを対象に、基金への協力を依頼</li> <li>• 小型風力、小規模太陽光発電施設など、個人事業者からの参加はない。</li> <li>• 基金の使用用途は市域全域を対象に、教育や街の美観を保つ活動などに活用している（学校の机やいすの購入、給食費補助など）。</li> <li>• 市の広報などで取組をPRしている。</li> </ul>                    |

### 3. 第2回協議会以降の資料収集等

表3-1 先進事例・自治体への取材結果（概要）

| 事 例                 | 取材先                                | 結果概要                                                                                                                                                                                 |
|---------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 洋上風力<br>見学施設        | 秋田港<br>秋田洋上風力発<br>電（株）<br>AOW風みらい館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者は土日を中心に40名/日ほどである。</li> <li>・見学者は地元住民に加えて、地元の学生や全国からの大学生が含まれる。</li> <li>・道の駅が近傍にできて見学者が増えている。</li> </ul>                                  |
| 陸上風力<br>見学施設        | 高知県大月町観<br>光協会<br>（電話取材）           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週末のみ月1回程度、風力発電に関連するイベントを実施。</li> <li>・地元住民中心に見学ツアーを実施したが、その後はコロナで実施していない。</li> <li>・観光協会内には風力担当がおり、事業者の協力のもと風力施設の利用したイベントを検討している。</li> </ul> |
| 脱炭素先<br>行地域、<br>新電力 | 北海道<br>上士幌町                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新電力は町が中心となって会社を設立し、畜産からの糞尿を利用して発電。北海道電力に売電した電力を購入し、町内の契約者に供給。</li> <li>・糞尿バイオガスプラント等による脱炭素の取組を推進。</li> </ul>                                 |

# 目 次

1. 第2回協議会でのご意見及び対応方針(案)
2. 第2回協議会以降の地域エネルギービジョン策定に関する  
国、せたな町等の動向
  - (1) ゼロカーボンシティ宣言
  - (2) 脱炭素先行地域
  - (3) 洋上風力発電に係る動向
3. 第2回協議会以降の資料収集等
  - (1) 事例の収集
  - (2) 先進事例・自治体への取材
4. **せたな町 地域エネルギービジョンの基本方針(案)**
  - (1) 再検討にあたっての基本的な考え方**
  - (2) 基本方針(案)**
  - (3) 具体的な取組(案)**



# 4. せたな町地域エネルギービジョン 基本方針(案)

第2回協議会でのご意見、事例の取材や最近の動向等を踏まえて、エネルギーの内容を再検討いたしました。

## (1)再検討にあたっての基本的な考え方

第2回協議会でのご意見及びその後の国等の動向を踏まえ、現状及び将来にわたって、地域住民へのメリットを考慮した基本方針(案)の再検討を行いました。これらの取組を通して、特に民生部門の温室効果ガス排出量の削減を図ります。

基本方針を5つの観点から整理し、今後、行っていく取組を整理しました。

- ①経済(町内外の地域活性化)
- ②環境(再エネ、省エネ)
- ③社会(安全・安心なまちづくり)
- ④教育(環境教育・人材育成)
- ⑤技術(最新技術)

# 4. せたな町地域エネルギービジョン 基本方針(案)

## (2)基本方針(案)

| 観 点                                | 基本方針 (案)                                                 |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ①経済<br>(農林業、漁業、観光など、<br>町内外の地域活性化) | 町内の再エネ導入・省エネ推進を通して、町内外を含めたエネルギーの地産・地消を図り、町内外の地域活性化を図る。   |
| ②環境<br>(再エネ、省エネ、<br>生物多様性保全)       | 町民一人当たり日本一の再エネ導入量・省エネ推進により、日本一の脱炭素の取組を行う。                |
| ③社会<br>(安全・安心なまちづくり)               | 再エネ導入・省エネ推進による防災機能の強化等を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。              |
| ④教育<br>(環境教育・人材育成)                 | 町内外の再エネ・省エネ施設を利用した環境教育・人材育成を図り、町民の脱炭素の取組を推進する。           |
| ⑤技術<br>(最新技術、農林業・漁業の<br>電化)        | 洋上風力発電などによる再エネ電源を利用した最新技術の活用により、町内の様々な施設や活動の脱炭素の取組を推進する。 |

# 4. せたな町地域エネルギービジョン 基本方針(案)・具体的な取組(案)

表4-2 カーボンフリーに向けた具体的な取組

| 視 点                                            | 基本方針                                                                               | 具体的な取組 (◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①経済<br>(農林業、<br>漁業、観光<br>など、町内<br>外の地域活<br>性化) | 町内の再エネ導<br>入・省エネ推進<br>を通して、町内<br>外を含めたエネ<br>ルギーの地産・<br>地消を図り、町<br>内外の地域活性<br>化を図る。 | <p>■再エネ導入の促進</p> <p>●再エネ施設の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニング検討の環境配慮等を踏まえた陸上風力発電の誘致 (◎)</li> <li>・ゾーニング検討の環境配慮等を踏まえた洋上風力発電の誘致 (◎)</li> <li>・「基地港湾を補完する港湾」の選定への取組 (◎)</li> </ul> <p>●公的施設等の再エネ施設の設置、再エネ電源の地産・地消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本初洋上風力発電施設「風海鳥」のリパワーまたは建替 (○)</li> <li>・北部桧山衛生センター組合のごみ焼却処理施設を利用した発電 (○)</li> </ul> <p>→余剰電源の町民還元→町内外を含めた自営線設置などの検討 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電施設の設置(役場や学校などの公共施設) (◎)</li> </ul> <p>●民生部門等の再エネ電源の地産・地消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光設備設置補助 (◎)</li> </ul> <p>●農業・漁業での再エネ電源の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ電源を利用した冷蔵・冷凍施設の設置支援 (○)</li> <li>・再エネ電源を利用した電気柵等の設置支援 (○)</li> </ul> <p>■省エネの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅や事業所のZEH化、ZEB化への補助 (◎)</li> <li>・公共交通機関、公用車、町内バス・タクシーの次世代自動車(EV化)の推進 (◎)</li> <li>・町内の照明のLED化の推進 (◎)</li> </ul> <p>■地域活性化の推進 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●再エネ施設に係る環境教育施設の設置 (○)</li> <li>●再エネ施設の観光資源としての活用 (◎)</li> </ul> |

# 4. せたな町地域エネルギービジョン 基本方針(案)・具体的な取組(案)

表4-2 カーボンフリーに向けた具体的な取組

| 視 点                      | 基本方針                                        | 具体的な取組 (◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施)                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ②環境<br>(再エネ、省エネ、生物多様性保全) | 町民一人当たり日本一の再エネ導入量・省エネ推進により、日本一の脱炭素の取組を行う。   | <p>(同上)</p> <p>●温室効果ガスの吸収源としての機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用材の活用による木質バイオマスの地産・地消の検討 (◎)</li> <li>・自然環境保全上、重要な地域の適切な保全・維持管理 (◎)</li> </ul>                                                                                                                                             |
| ③社会<br>(安全・安心なまちづくり)     | 再エネ導入・省エネ推進による防災機能の強化等を図り、安全・安心なまちづくりを推進する。 | <p>●再エネ基金を利用した安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明施設の設置・増設(街灯やスポーツ施設など) (○)</li> <li>・再エネ電源を利用した次世代自動車による医療・介護・福祉輸送 (◎)</li> </ul> <p>●再エネ電源を活用した防災機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における再エネ発電施設の活用 (◎)</li> <li>・再エネ電源を活用したロードヒーティング等による交通安全の確保 (○)</li> </ul> |

# 4. せたな町地域エネルギービジョン 基本方針(案)・具体的な取組(案)

表4-2 カーボンフリーに向けた具体的な取組

| 視 点                     | 基本方針                                                     | 具体的な取組 (◎：2030年までに実施、○：2050年までに実施)                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ④教育<br>(環境教育・人材育成)      | 町内外の再エネ・省エネ施設を利用した環境教育・人材育成を図り、町民の脱炭素の取組を推進する。           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●再エネ施設を利用した環境教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ施設を見学する施設の設置 (○)</li> <li>・再エネ施設を利用した環境教育に係る授業の実施 (◎)</li> <li>・環境教育を目的とした町内外からの施設見学受入の実施 (◎)</li> </ul> </li> <li>●広報や勉強会の開催等による再エネ・省エネ取組の周知 (◎)</li> <li>●町内外の関係機関と連携した再エネ・省エネ施設の維持・管理に係る人材育成の取組 (○)</li> </ul> |
| ⑤技術<br>(最新技術、農林業・漁業の電化) | 洋上風力発電などによる再エネ電源を利用した最新技術の活用により、町内の様々な施設や活動の脱炭素の取組を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●再エネ施設における蓄電池の設置 (○)</li> <li>●再エネ電源を利用したEV充電施設の設置 (○)</li> <li>●洋上風力発電実証事業の誘致 (◎)</li> <li>●農機・重機・船舶のEV化・非化石燃料化(水素ガス)の実証事業 (○)</li> <li>●家畜糞尿バイオガス施設の設置 (○)</li> <li>●近接市町村へのエネルギー融通(町内外を含めた新電力の検討) (○)</li> </ul>                                                             |